Marubeni

CAREER VISION
金属資源開発部　-紹介資料-

金属資源開発部
2025年12月

丸紅・金属資源開発部とは

鉄鉱石鉱山

- ✓ 金属資源開発部は当社が出資する鉄鉱石・石炭・銅の鉱山を管理している営業部を技術面からサポートする部署です
- ✓ 営業部が新規に出資を検討するプロジェクト評価に対する技術支援も行っています
- ✓ 技術のバックグラウンドを有する社員が、それぞれの専門性を生かして活躍する、総合商社でもユニークな部署です。鉱物資源開発に欠かすことのできない地質・採鉱・選鉱の3分野の技術者が所属しています
- ✓ 本社勤務ではデータ解析等の机上評価を中心に業務を行っていますが、現地の状況を把握する必要があれば海外の現場に出張します。また、出資する海外鉱山へ出向勤務することで、技術力とともに、技術者に必須の現場力も磨いています

石炭炭鉱

銅鉱山

バッテリーリサイクルプラント

© Marubeni Corporation All Rights Reserved.

金属資源開発部の人財育成の取り組み ①

◆数年周期での海外鉱山勤務

多くの海外鉱山を保有するメリットを活かし、鉱種・専門が異なる複数の鉱山現場でスピード感を持って様々な経験を積むという人財育成方針を掲げています。そのうえで、「経験者(※)」となるまでの期間を、鉱山会社で勤務した場合の半分の7～8年で達成することを目指しています。

※鉱山会社では、「鉱山現場(10年)+東京本社等のオフィス勤務(5年)=15年程度」の勤務経験をもって「経験者」と位置付けるのが一般的。

*当社が出資するチリ・銅鉱山にて
働く当社技術者の様子

◆頻繁な海外出張

権益保有鉱山の長期計画や予算の精査、新規案件の調査等を目的として、海外に出張します。

【A技師の1年間の海外出張例】

○2025年8月：銅鉱山長期計画精査・サイトビジット

○2025年11月：銅鉱山予算精査・サイトビジット

*サイトビジット中の様子

© Marubeni Corporation All Rights Reserved.

金属資源開発部の人財育成の取り組み ②

◆定期的な技術・語学研修

- ソフトウェアの活用方法や鉱山業に関する新たな知識・スキルの習得
- 外国語（英語・スペイン語等）の研修等

【研修受講例】
○マイニングソフトウェアVulcan研修@豪州　（3日間）
〇英語研修（週2日×6ヶ月間）
○スペイン語研修（週2日×4ヶ月間）

＊当社が保有するソフトウェアの現地研修

◆**国際資源大学校**への派遣/**海外大学**での修士号の取得

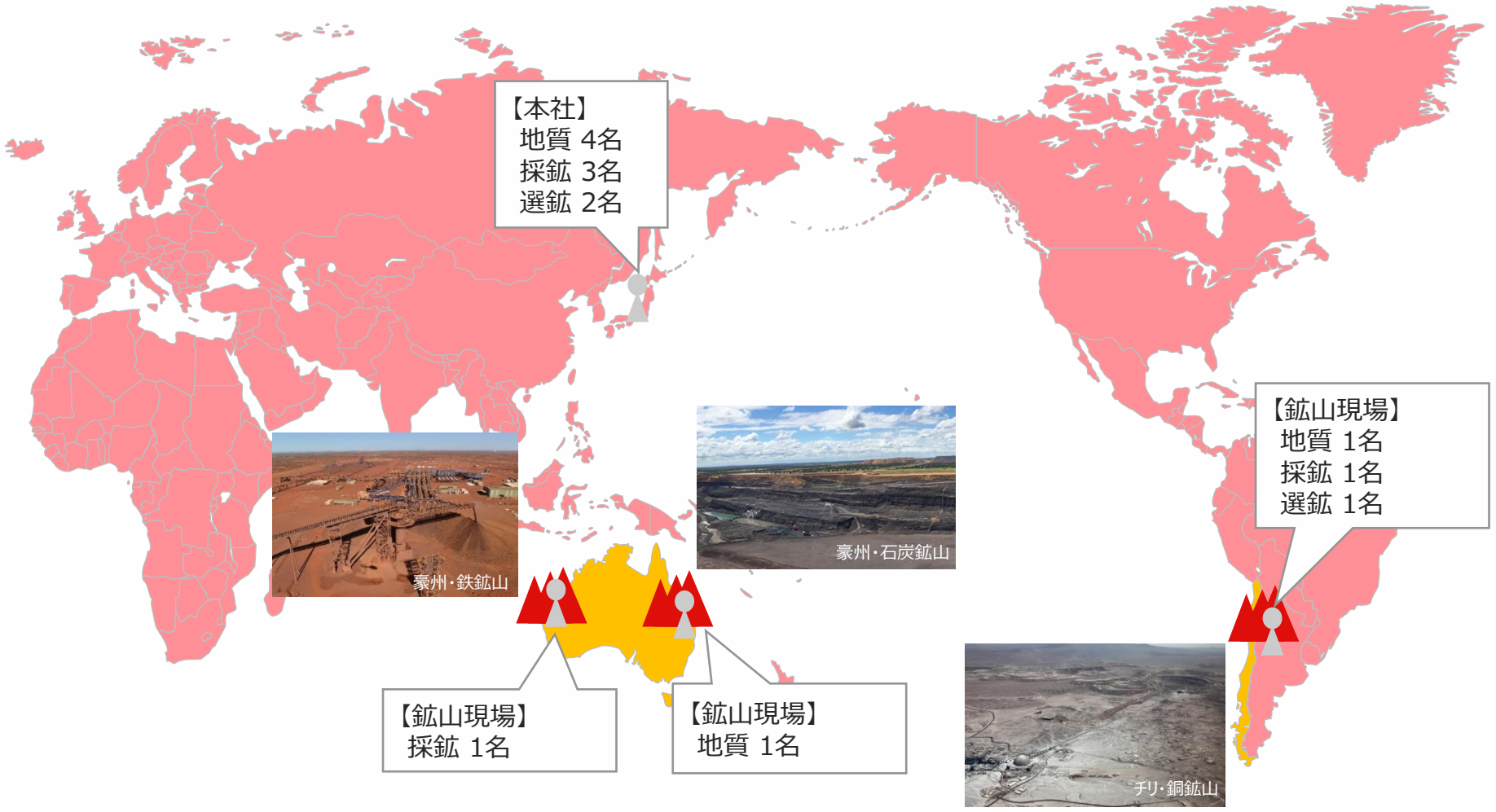
- 鉱山技術の基礎知識の習得や、同世代の他社技術者とのネットワーク構築を目的に、一般財団法人国際資源開発研修センターが主催する国際資源大学校（海外視察を含む3ヶ月のプログラム）に若手社員を派遣しています。

- また、技術者としての知見の深化や、世界各地で働く技術者同士のネットワーク構築を目的として、資源業界に多くの優秀な人材を輩出している豪州・ニューサウスウエルズ大学鉱山学科の修士課程への派遣実績もあります。

＊国際資源大学校に参加時の様子

© Marubeni Corporation All Rights Reserved.

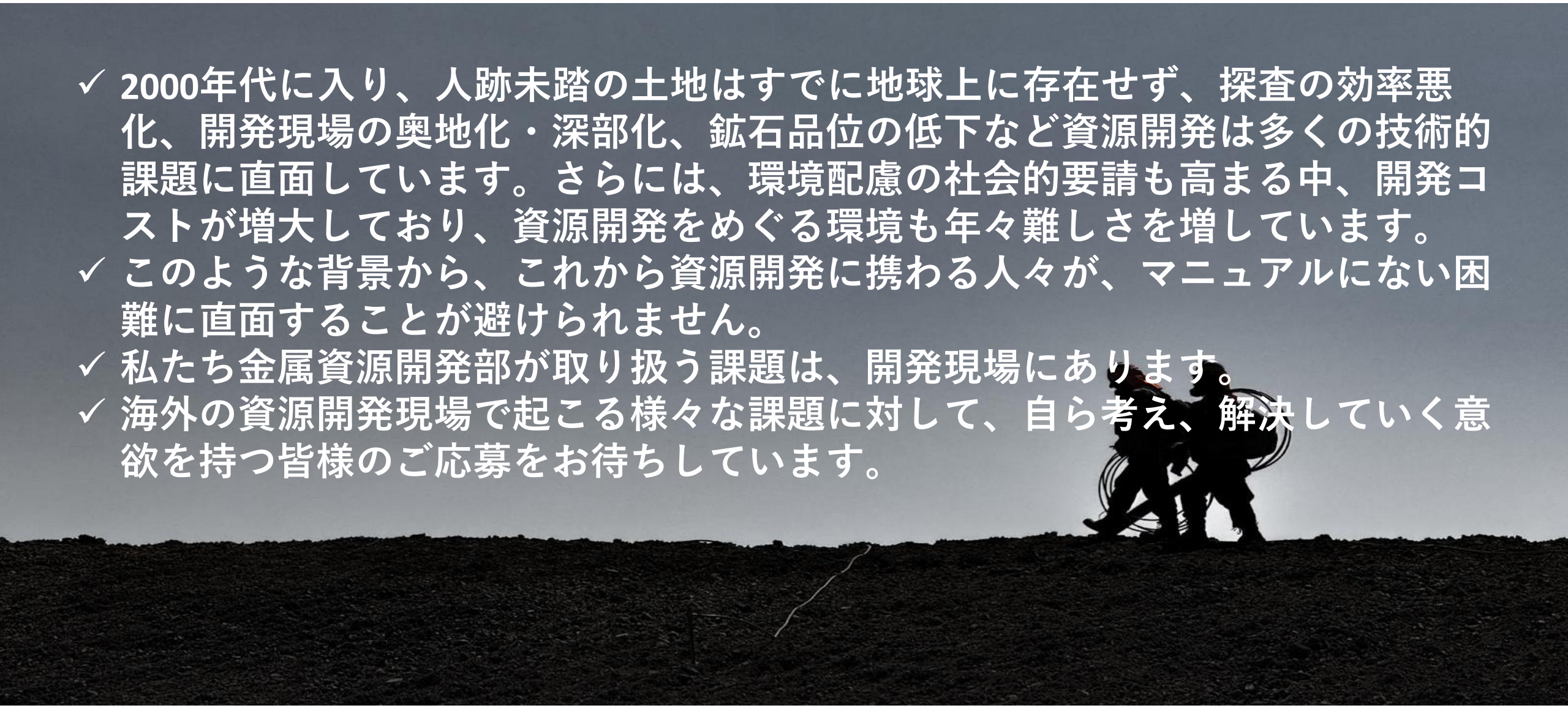
丸紅の鉱山開発プロジェクトと技術系社員の配置



© Marubeni Corporation All Rights Reserved.

金属資源開発部が求める人物像

- ✓ 2000年代に入り、人跡未踏の土地はすでに地球上に存在せず、探査の効率悪化、開発現場の奥地化・深部化、鉱石品位の低下など資源開発は多くの技術的課題に直面しています。さらには、環境配慮の社会的要請も高まる中、開発コストが増大しており、資源開発をめぐる環境も年々難しさを増しています。
- ✓ このような背景から、これから資源開発に携わる人々が、マニュアルにない困難に直面することが避けられません。
- ✓ 私たち金属資源開発部が取り扱う課題は、開発現場にあります。
- ✓ 海外の資源開発現場で起こる様々な課題に対して、自ら考え、解決していく意欲を持つ皆様のご応募をお待ちしています。



© Marubeni Corporation All Rights Reserved.